

平成 29 年度再評価対象事業箇所  
(対象：平成 24 年度再評価実施事業)

(再評価実施後、一定期間(5年)が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)

番号	項目	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済 情勢等の変化	費用対効果 の要因の変化	コスト削減や代替案 等の可能性	再評価 理由	対応方針 (事業課)
	再評価 時点	都市公園事業 (佐賀城公園)  事業主体：県 事業地：佐賀市	佐賀城跡を囲む濠沿いの緑あふれる散策路や文化施設(博物館、美術館、図書館、佐賀城本丸歴史館)周辺の広場を整備し、県民にうらおいとやすらぎのある憩いの場を提供し、歴史・文化・レクリエーション・防災公園としての整備を図る。	全体事業費：87.6億円 期間：S43～H20年度 全体計画：31.8ha 主要施設：濠、広場、園路、植栽、四阿、遊戯施設、便所、照明灯、土塁、駐車場 関連施設：博物館、美術館、図書館、体育館、歴史資料館(H16)等 都市計画決定変更：H8全体	H13度末事業費：48.7億円 供用面積：24.4ha 進捗率：75.5% 平均年度進捗率：2.2% 整備経緯 S43公園供用面積21.3ha H4 " 24.3ha H10 " 24.4ha H14以降事業内容 「歴史の森地区」整備 駐車場、便所、植栽、濠	佐賀空港の開港や空港道路が整備され、平成16年度に歴史資料館開館予定もあり、佐賀県を代表する観光拠点・交流の場として県内外の利用者が見込める。 現在、整備されている博物館、美術館、図書館、体育館等の関連施設の利用と併せ、環境や健康保持増進への意識が高まる中、園路、広場等の公園利用者も増加している。	事業採択時と比較し、緑や環境、健康増進やレクリエーション、景観等に対する住民意識が飛躍的に高まっている。事業採択時と比較し費用対効果の要因の変化は見られない。	建設残土の改良による有効利用や他事業で発生した石材の有効利用により、コスト削減を図ることとしている。	10年以上 継続	継続
	再評価 時点  H19		また、佐賀城本丸歴史館を核とする周辺のまちづくり構想である佐賀城下再生百年構想が策定され、品格のある佐賀城下の再生に向けた整備を進める。	全体事業費：81億円 期間：S43～H24年度 全体計画：31.8ha 主要施設：濠、広場、園路、植栽、四阿、遊戯施設、便所、照明灯、土塁、駐車場 関連施設：博物館、美術館、図書館、体育館、佐賀城本丸歴史館等 都市計画決定変更：H11一部	H18度末事業費：63.0億円 供用面積：27.8ha 進捗率：87.4% 平均年度進捗率：2.2% 整備経緯 S43公園供用面積21.3ha H4 " 24.3ha H10 " 24.4ha H16 " 27.8ha H19以降事業内容 「歴史の森地区」整備 広場園路、植栽、濠等	事業を巡る社会経済情勢に大きな変動は、みられないが、平成16年8月に佐賀城本丸歴史館が開館したことで、観光拠点・交流の場として多くの来館者が訪れており、併せて佐賀城公園全体の利用者も増加している。	事業採択時と比較し大きな要因の変化は見られない		再評価 実施後 5年経過	継続 佐賀城本丸歴史館が平成16年8月に開館し、観光・交流の拠点として多くの来館者が訪れており、今後も佐賀城公園への来園者は増加する傾向にあるため、佐賀城址としての一体的整備が必要である。
	再評価 時点  H24			全体事業費：81億円 期間：S43～H27年度 全体計画：32.3ha 主要施設：濠、広場、園路、植栽、四阿、遊戯施設、便所、照明灯、土塁、駐車場 関連施設：博物館、美術館、図書館、体育館、佐賀城本丸歴史館等 都市計画決定変更：H20一部	H23度末事業費：73.6億円 供用面積：28.2ha 進捗率：90.9% 平均年度進捗率：0.2% 整備経緯 S43公園供用面積21.3ha H4 " 24.3ha H10 " 24.4ha H16 " 27.8ha H21 " 28.2ha H24以降事業内容 「歴史の森地区」整備 園路広場、濠等	平成19年3月に佐賀城下再生百年構想策定会議により、行政と地元住民が協働し、佐賀城本丸歴史館を核とする佐賀城下のまちづくり計画である『佐賀城下再生百年構想』が策定された	最新のマニュアルにより費用対効果を算出した。  (費用対効果) B / C = 6 . 5	植物管理により発生した剪定枝等をチップ処理し、マルチング材として利用し、廃棄物処理削減に取り組んでいる。	再評価 実施後 5年経過	継続 年間多くの利用者が訪れており、当公園の基本方針に基づく整備に対する期待は大きい ため、事業の継続が必要である。

現時点 H 2 9			<p>全体事業費：107億円          期間：S43～H34年度          全体計画：33.2ha          主要施設：濠、広場、園路、植栽、四阿、遊戯施設、便所、照明灯、土壘、駐車場          関連施設：博物館、美術館、図書館、体育館、佐賀城本丸歴史館等          都市計画決定変更：H27一部</p>	<p>H28度末事業費：80.6億円          供用面積：29.5ha          進捗率：75.4%          平均年度進捗率：-%          整備経緯          S43公園供用面積21.3ha          H4 " 24.3ha          H10 " 24.4ha          H16 " 27.8ha          H21 " 28.2ha          H25 " 28.6ha          H27 " 28.7ha          H28 " 29.5ha          H29以降事業内容          「歴史の森地区」整備          園路広場、濠等</p>	<p>平成27年2月に都市計画決定の変更を行い、旧県立病院好生館立体駐車場跡、県職員宿舍跡等、NHK用地約0.9haの区域を加え、佐賀城公園として整備することとした。</p>	<p>平成27年2月の都市計画決定により追加した区域等の整備費用も加え、費用対効果を再算出した。           (費用対効果)          B / C = 2 . 5</p>	<p>工事で発生する残土を盛土材等として流用          再生資材の利用促進を図る          物管理により発生した剪定枝等をチップ処理し、マルチング材として利用し維持管理費の縮減を図る</p>	再評価 実施後 5年経過	<p>継続          年間多くの利用者が訪れており、当公園の基本方針に基づく整備に対する期待は大きい          ため、事業の継続が必要である。</p>
理由等									